

上り線 網掛トンネル 神坂トンネル集水枡取替工の作業手順

制定・改定日 2022.7.8

| 項 目          | 内 容  | 留 意 事 項  |
|--------------|--|--|
| 準備工          | <ul style="list-style-type: none"> <li>作業内容の確認</li> <li>作業人員の確認</li> <li>保護具の確認</li> <li>保護具の点検</li> <li>使用機械、資材、工具の点検</li> <li>規制内容の確認</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>指示書の内容確認</li> <li>安全打合せ書による。</li> <li>作業別安全チェックシートの活用。</li> <li>KY活動</li> </ul>   |
| カッター工        | <ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリートカッターで施工予定ラインに沿ってコンクリートを切断する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>機械使用後は、水抜きを行い、歯止めをかって路肩に置く。</li> <li>ブレード付近には、手、足を近づけない。</li> </ul>   |
| はつり工         | <ul style="list-style-type: none"> <li>グレイチング枠が設置できる規定の高さまで、コンクリート部分をはつり取る。</li> <li>既存のグレイチングが取り外せない場合、カッターにて切断する。</li> <li>はつり終了後は綺麗に清掃し、取り壊し検側を行う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>車線側には必ず飛散防止ネットを設置する。</li> <li>作業に合った保護具を使用する。</li> </ul>  |
| グレイチング枠設置    | <ul style="list-style-type: none"> <li>堆積した土砂を排出する。</li> <li>所定の位置・深さまで削孔し、ホークアンカーボルトを打ち込む。</li> <li>舗装面とグレイチング枠の高さを合わせた後に、アンカーと枠を溶接する。</li> <li>グレイチングへの取付位置と、チェーンの長さ(300mm)を考慮して水路内、路肩側のコンクリートを削孔後、ホークカットアンカーを打ち込む。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>削孔等により緩んだコンクリートは、撤去する。</li> <li>アンカーボルト打込み部の削孔(φ14.5mm 45mm)。</li> <li>ホークカットアンカー削孔(φ14.5mm 45mm)。</li> <li>施工箇所前後の感知器にカバーを取付、誤作動を防止する。</li> <li>溶接時は防煙シートで囲い、火花の飛散と光の漏れが無い様にする。</li> <li>溶接時には、消火器等を用意し火災に十分備える。</li> <li>トンネル作業時には、事前に施設障害システムに登録する。</li> </ul> |
| 型枠工          | <ul style="list-style-type: none"> <li>必要箇所に型枠を設置する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ゆるみの無い様、しっかりと結合させる。</li> </ul>  |
| 無収縮コンクリートの打設 | <ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリート打設面を清掃する。</li> <li>計量した水と無収縮モルタルを攪拌機で練り混ぜる。コンクリートを打設する。</li> <li>パイプレーターをかけコンクリートの均一性を確保する。</li> <li>打設後は、素早く金鍍仕上げを行う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>練ダマにならないよう、モルタルは少しずつ投入する。</li> <li>打設面が不連続にならないよう、作業は中断することなく行う。</li> </ul>   |
| 養生           | <ul style="list-style-type: none"> <li>シート等で養生を行う。</li> <li>養生は3時間とする。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>シート養生は、飛散防止処置を行う。</li> </ul>  |
| グレイチング取付     | <ul style="list-style-type: none"> <li>型枠を取り外す。</li> <li>ホークカットアンカーにアイボルトを取付け、ステンレスチェーンを接続する。</li> <li>ステンワイドシャックルを介してチェーンとグレイチングを接続する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>グレイチング取付時は必ず2人以上で作業を行う。</li> </ul>  |
| 後片付け         | <ul style="list-style-type: none"> <li>使用した道具、機材、余った材料等は、トラックに積み込み、最後に竹ぼうきなどで清掃する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。</li> <li>はつりかす、材料かすが無い様に、綺麗に清掃する。</li> </ul>   |

| 作業編成(標準) |   |   | 機材      |      | 資材 |  | 安全器具・保護具    |          |
|----------|---|---|---------|------|----|--|-------------|----------|
| 作業責任者    | 1 | 名 | サンダー    | スタッフ |    |  | ヘルメット       | 飛散防止ネット  |
| 現場監視員    | 1 | 名 | 水タンク    | 溶接機  |    |  | 反射(自発光)チョッキ | 感知器防護シート |
| 作業員      | 4 | 名 | ブレーカー   | ポイド管 |    |  | 警笛          | 溶接防護シート  |
|          |   |   | コンプレッサー | 型枠   |    |  | 保護メガネ       |          |
|          |   |   | 角スコップ   | 打込み棒 |    |  | 防塵マスク       |          |
|          |   |   | 竹ぼうき    | 金鍍   |    |  | 消火器         |          |
|          |   |   | モルタル攪拌機 |      |    |  | ブレーカ外れ留め    |          |

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し、作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談する。

■注意事項(共通の指導事項)

- 1.作業に合った保護具を使用する。
- 2.センターライン付近の作業は、十分注意を行う。
- 3.各作業は、有資格者による作業を行う事。
- 4.はつり、清掃時、の小石等の一般車への飛散には、十分注意を行う。
- 5.火災防止処置を行う事。(消火器の設置)
- 6.手持ち式振動工具については取扱を十分理解し、使用する。
- 7.一人作業の禁止